令和7年度「学習・登校サポート事業」にかかる公募型プロポーザル方式による
選定結果について

1 案件名称

令和7年度「学習・登校サポート事業」

契約期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日

2 選定した委託予定事業者

株式会社キズキ

3 公募期間

令和7年1月10日から令和7年2月10日

4 学識経験者等の意見を徴取する選定会議メンバーによる審査の結果

(1) 選定会議メンバー名簿（敬称略）

委員氏名	役職等
遠藤 和佳子	関西福祉科学大学 教授
東尾 晃世	大阪教育大学 特任准教授
阪上 由香	NPO 法人 FAIR ROAD 理事長

(2) 選定会議の開催日

令和7年2月17日

(3) 審査基準

評価項目	審査項目	配点
ア 業務遂行にあたっての総合的な視点・姿勢	「子どもの生活に関する実態調査」等を分析の上、大正区の実情に応じた的確な提案を行っているか	15点
イ 業務目的及び業務内容の理解度	事業内容について、趣旨をよく理解し、的確な考え方が示されているか	10点
ウ 事業内容の実現性、実施手順の妥当性、事業目的に対する手法の的確性・独創性・専門性	一人ひとりの状況に応じたきめ細かい学習サポート、登校支援及び「居場所」での支援を行い、学力の向上を図るものとなっており、こどもの貧困対策に資するものとなっているか	10点
	学習サポート、登校支援及び「居場所」での支援の実施にあたり、家庭環境を含む世帯全体への支援となっているか	10点
	学習、登校及び「居場所」での支援終了の基準は、具体的かつ定量的な基準となっているか	5点
	対象家庭との面談や働きかけ、各種関係機関等との連携について、具体的かつ効果的な方法となっているか	5点
	事業目的を達成するに足る人材の確保が見込まれるか	5点
	研修実施にかかる計画は、具体的かつ適切なものとなっているか	5点
	効果検証方法が適切であるか	5点
エ 危機管理体制	安全・危機管理の体制が適切に計画されているか	10点
オ 類似事業の豊富さ及び運営基盤	当該事業に類似した事業実績があり、提案した事業を確実に遂行できる運営基盤があるか	10点
カ 費用積算根拠の妥当性	総合的に収支計画が具体的かつ妥当性を有しており、実行可能なものであるか	10点
計		100点

※選定会議メンバー3名の評価点の合計が最も高い企画提案者を委託予定事業者の候補とする。ただし、最も優れていると評価された企画提案者の各審査項目において、選定会議メンバー3名の評価点の合計が満点の60%未満であった場合、委託予定事業者は無しとする。

(4) 審査を行った事業者（五十音順）

株式会社キズキ

株式会社トライグループ 全2者

(5) 審査の結果（選定会議メンバーの評価点の合計点）（合計点の高い順）

評価項目	B社	A社
ア 業務遂行にあたっての総合的な視点・姿勢	39	29
イ 業務目的及び業務内容の理解度	26	18
ウ 事業内容の実現性、実施手順の妥当性、事業目的に対する手法の的確性・独創性・専門性	110	94
エ 危機管理体制	26	25
オ 類似事業の豊富さ及び運営基盤	25	23
カ 費用積算根拠の妥当性	25	22
合計	251	211

【附帯意見】

- ・ 社会福祉の専門的観点から、本事業を必要とする子どもを支援に繋ぐこと。